

四十九院のこぶし周辺整備事業

取組に至る背景・事業の目的

- 四十九院のこぶしは、白馬村深空区（四十九院地籍）に咲き誇る2本のこぶしの大木のことをいい、5月初旬には、眩しい白い花々を咲かせる。そして、北アルプスを背にしたその勇姿は、多くの観光客や写真愛好家を魅了している。
- 平成19年に地元有志により「四十九院のこぶし保存会」を設立し、こぶしの保存と菜の花の植栽を主とした、景観保全活動を行ってきた。そして、平成23年度は、支援金を活用し、さらに景勝地としての魅力を高めるための取組と地域協働の輪を広げる活動を行った。

事業内容

- こぶし周辺の環境整備
 - ・こぶしの植樹（新たにこぶし2本を植栽）
 - ・こぶし周辺の整備（下草刈り、間伐、抜根、整地、施肥）
 - ・駐車場の整備（下草刈り、整地）
 - ・案内看板の設置
- 菜の花の植栽事業
 - ・菜の花の植栽（起耕、施肥、種まき、種子収穫）
 - ・菜の花畑の整備（石抜き、整地、草刈り、草取り）



【四十九院のこぶしと菜の花】

事業効果

- 活動に賛同する人が年々増えており、地域住民への理解が広がってきている。
会員数（H23）：25名（前年度から2名増加）
- 四十九院のこぶし周辺を訪れる人は、これまでの写真愛好家に加え、家族連れや団体客など広がりを見せている。また、来訪者数も平成23年度は定点観測で約2,500人と前年度の1,200人を大きく上回っており、観光地としても定着してきた。新聞紙上でのPRや誘導看板の増設が効果として表れてきている。
- 地権者の理解を得て、約500㎡の駐車場整備を行ったことから、来訪者への利便性の向上が図られた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 平成24年度は、現有するこぶしの保存と菜の花の植栽の活動を継続していく他に、開花時期以外にも観光客や地域の方に訪れてもらえるように、憩いのスペースとして間伐材を利用したベンチを設置した。
- 今後は、ホームページの開設により、タイムリーな情報発信を行い、観光スポットとして、ビュースポットとしてPRしていきたい。

【選定のポイント】
 地域住民による地道な取組により、花の時期には多くの方が訪れる観光スポットとして定着してきている。今後も地域資源の維持管理を続けることにより、住民の協働による景観の保全と地域の活性化が期待できる。

団体名	四十九院のこぶし保存会（白馬村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0261-72-2704	事業費	411,964円
	代表 降旗良昌	支援金額	411,000円